



いたびつ 板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年10月10日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

中間考査を終えて～これからの学習の糧に～

～中間考査が終わった後の学習が次の期末考査での大きな差になります～

5日(木)・6日(金)で2学期中間テストが実施され、今日からテスト返しが始まりました。返ってきた答案を見てどんなことを考えますか。テストの答案用紙を見て、点数ばかり見ようとしませんか。例年、合計点を計算して一喜一憂(いきいちゆう:よろこんだり心配したりすること)している人を多く見ます。試験の結果は、点数だけでなく、「どこができていないか分析すること」が大切です。特に理科や社会では、2分野(生物など)、1分野(物理・化学など)、公民・歴史・地理などの項目(分野)が分かれており、点数の差が明白に出ます。国語は、現代文や漢文・漢字などで、英語は、単語・文法・長文など、数学は、計算、公式、文章問題のようになると思います。



本当に大切なのは、自分が何を答えられて何を答えられなかったのかということです。今回の中間考査ですべてが終わったわけではないのです。今回の中間考査の内容は今後も大切な内容です。今の3年生は、1・2年生のみなさんが学習してきたことを今もう一度復習しています。なぜなら、高校受験では1年のはじめからの内容が出題されるからです。もちろん、今、みなさんが学習していることは、義務教育の中で当然分かってほしいことなのです。

☆☆☆テストの後にしなければならないことは？☆☆☆

- ① 問題用紙と解答用紙・模範解答をすべてファイルにとじましょう。見直し等に利用しましょう。
- ② 答案用紙を見直します。もう一度問題を解いて何点とれるかを確認めます。問題と答えを見て、何が答えなのかを確認します。このときに、ノートに問題文を写して自分で答えてみるというですね。問題用紙をコピーして貼るのもいいです。ノートに間違った問題文を写しておく、自分だけの「苦手克服ノート」ができあがります。ノートは授業のノートを使ってもいいですが、新しいノートを用意して「苦手克服ノート」をつくってもいいですね。
- ③ 問題に出たところはどの部分なのか、教科書にしるしをつけましょう。問題として問われた漢字や重要語句は何かを、教科書で確認し、アンダーラインを引きます。ノートにしるしをつけておいてもいいですね。
- ④ 日頃どの程度勉強すればよいかという決意を固めましょう。毎日宿題はやっていますか。予習や復習をしていますか。自分から進んで勉強しようとしていますか。今回の結果を見て、日頃の勉強の時間や学習内容に不足を感じることはできたでしょうか。テスト直前だけががんばっても効果があらわれにくい教科もあります。普段からコツコツやるのが力として蓄えられていくの

です。さあ、今日から絶対にやるぞと決意を固め、家族に勉強を始める時間を宣言しましょう。本屋さんで「要点まとめ」のような本があります。これは、数学で言う「公式」のようなもので、公式を生かして問題を解くポイントになります。自分で分かりやすい要点まとめをつくってもよいでしょう。みなさんの話を聞いていると、「分からない」と言って、そのままにしている人が多いように思います。最初から簡単にわかったら苦労しません。できる人は、実は陰で理解する努力を工夫しています。まとめノートを作って、それに関する問題を解いてみてください。「分からないことが分からない」人は、数多くの問題を解いてみて、分からない問題を解答とその公式や語句までしっかりと書いてみましょう。



10月10日は「目の愛護デー」です！

